

ペット防災クイックガイド



<ペットを災害から守るための4つの備え>

体調維持のための備え	環境変化に適応するための備え
<p> フード・水の備蓄、多めの薬</p> <p> ワクチンの接種 【狂犬病のみ義務】</p> <p> 避妊・去勢手術</p> <p> ノミ・ダニの予防や駆除</p> <p> フィラリア予防</p> <p> におい・毛の手入れ</p>	<p> 「待て」「おいで」のしつけ</p> <p> 吠えないしつけ</p> <p> 社会化トレーニング</p> <p> トイレトレーニング</p> <p> 噛まない・飛びつかせないしつけ</p> <p> 散歩トレーニング</p> <p> クレートトレーニング (小中型犬、猫)</p> <p> 避難訓練</p> <p> 犬用の靴 (中大型犬)</p>
<p> マイクロチップ 【将来義務】</p> <p> 迷子札</p> <p> ペットの写真</p>	<p> 鑑札・注射済票 【義務】</p>
はぐれた時のための備え	一緒に逃げるための備え

<項目別ポイント>

項目	ポイント	犬	猫
体調維持のための備え			
フード・水の備蓄、多めの薬	常に最低3日分（推奨7日以上）をローリングストック方式で維持する。	○	○
ワクチンの接種【狂犬病のみ義務】	犬8種類、猫6種類のワクチンあり。混合接種で病気予防。	○	○
避妊・去勢手術	発情期の鳴き声・無駄吠え防止、感染症・生殖器系の病気防止に効果。	○	○
ノミ・ダニの予防や駆除	多くの予防・駆除方法があり、まずはかかりつけの動物病院に相談。	○	○
フィラリア予防	予防薬があります。投薬時期等かかりつけの動物病院に確認。	○	△※
におい・毛の手入れ	定期的なシャンプーとブラッシングで衛生的に。（避難所での苦情多い）	○	○
環境変化に適応するための備え			
「待て」「おいで」のしつけ	犬の興奮を抑え、落ち着かせるためにも必須のしつけ。	○	○
無駄吠えないしつけ	吠えるには理由があるものの、無駄吠えはしないようしつけが重要。	○	○
社会化トレーニング	家族以外の人・場所・におい・音・他の動物に慣らす。	○	○
トイレトレーニング	排泄物は避難所での苦情原因に。決まった場所に置いたトイレでの排泄を。	○	○
噛まない・飛びつかせないしつけ	「甘噛み」や「愛情表現」でも子供が怪我する場合も。	○	○
散歩トレーニング (小型犬、猫)	リードやハーネスに慣れておく。避難先でのストレス解消、脱走予防にも。	○	○
はぐれた時のための備え			
鑑札・注射済票【義務】	犬の飼い主の義務です。必ず装着するようにしましょう。	○	○
迷子札	連絡先を書いておけば、保護した人から即座に連絡が来るメリットあり。	○	○
マイクロチップ	将来的にマイクロチップ装着が義務になります。 サイズ：直径約2mm、長さ約8mm～12mm	○	○
ペットの写真	色々な角度の単独写真と飼い主と一緒にの写真も。携帯電話・スマホだけでなく、印刷したものを財布などに。	○	○
一緒に逃げるための備え			
散歩トレーニング (中大型犬)	散歩の時の引っ張り癖が無くなるように。	○	○
クレートトレーニング (小中型犬、猫)	飼い主の指示・誘導ですぐにキャリーバッグに入るように。	○	○
避難場所の確認、避難訓練	避難場所の事前確認、徒歩での自己避難訓練でイザという時に備える。	○	○
犬用の靴 (中大型犬)	災害発生時、道路に散乱したガラスの破片や瓦礫は大変危険。	○	○

※フィラリアは主に犬の病気として知られていますが、猫にも感染することがあります。屋外に出る猫の場合、予防検討。